

RACING RS OIL-COOLER KIT RS

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取付説明書

BNR32

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

御願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載しております。
よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車両可能車両と製品の仕様

- 車名：SKYLINE GT-R
- 型式：BNR32
- エンジン：RB26DETT
- 年式：89/08～95/01
- 製品名称：BLITZ RACING OIL COOLER KIT RS
- 製品番号：10270
- 取説No.：003
- 備考：バンパーのカット加工が必要になります。
オイルブロック周辺にスペースが確保できない為、オイルブロックへセンサーの取り付けが出来ません。
注）適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社Webサイトをご覧下さい。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ ■TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町4-7-6 ■FAX：0422-60-0066

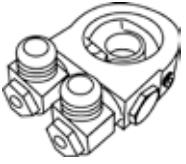
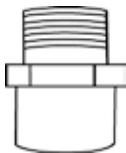
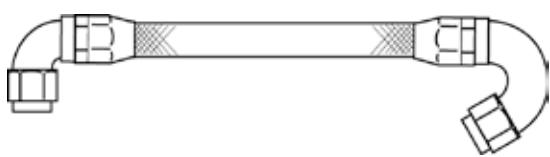
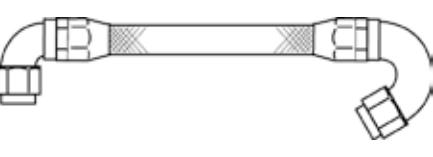
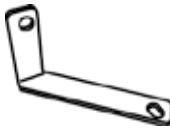
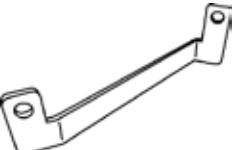
はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。
装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車両を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ラジエター、スロットル、インターフーラー等）を装着されており、事故歴のある車両の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関しての保証は致しかねます。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発刊する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ず点検を行なって下さい。
- 異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、アタッチメント、フィルター、エンジンプロックには封をする等、異物が入らないよう注意して下さい。
- オイルフィルターは再使用せず、新品を使用することをお勧めします。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車両法を守って走行してください。

■パーツリスト■

コア本体 TYPE-C	オイルブロックASSY		
		1	1
センター ボルト			
		1	
クーラー ホース No.1 (L=1510mm)	クーラー ホース No.2 (L=1450mm)		
		1	1
ステー No.1	ステー No.2	ステー No.3	
			1
カラー φ15 - t = 5.0			
			
プランジボルト M8×12	3	フランジボルト M6×20	2
タイラップ		コルゲートチューブ	

□仕様□

- BLITZ OIL COOLER KIT は、オイルブロックをオイルフィルターで挟んで固定するタイプのオイルクーラーです。オイルブロックにはサーモスタッドを内蔵し、設定温度以上になるとコアへオイルを誘導します。設定温度以下になるとコアをバイパスさせエンジンへオイルを誘導します。周囲には PRESS 及び TEMP センサー取り付け用の穴が設けられています。
- 新開発のバンジョウタイプ自在ユニオンを採用し（一部車種）、ホースの取り出し向きの自由度が向上しています。
- 新開発のフィッティングを採用し、オイル漏れに対して大幅に信頼性を向上させています。
- ホースは車種に合わせ最適な長さにカットされ、フィッティングがセットされています。キット取り付け時にフィッティング組み付け等の面倒な作業はありません。

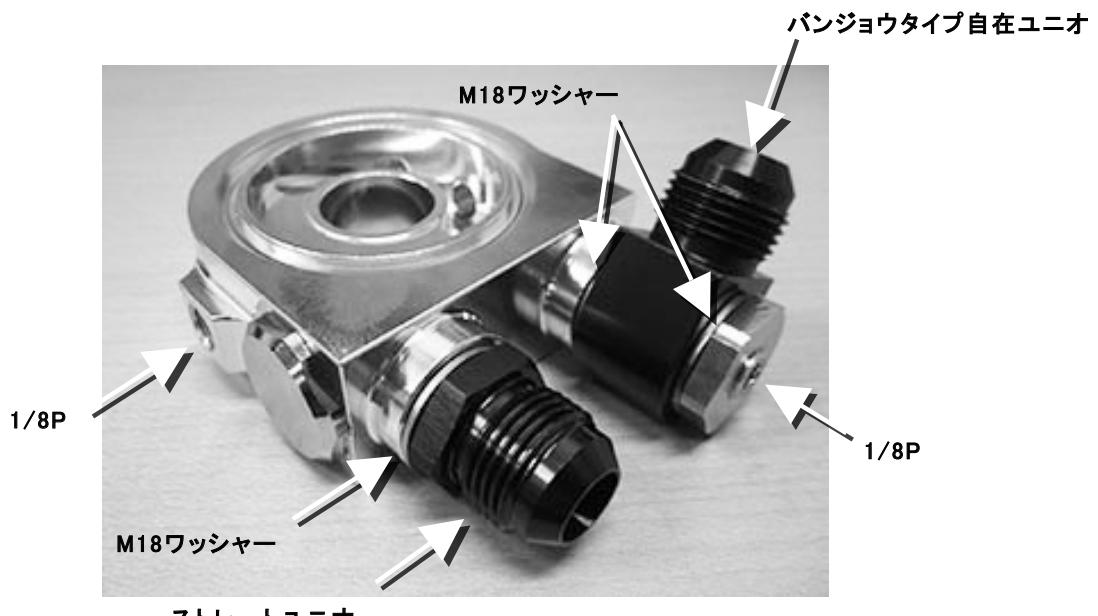
●サーモスタッド作動温度：70°C～85°C±3°C

●センサー取り付け穴：

1/8PT（弊社 PRESS/TEMP センサーの取り付けが可能です。）

※車種により周囲のスペースが確保できない為、センサーの取り付けが出来ない場合もあります。

※車種によりキットに付属されるユニオンの種類が異なります。



ストレートユニオ



□組み付け作業手順□

■作業者の方へお願い。

- ・作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

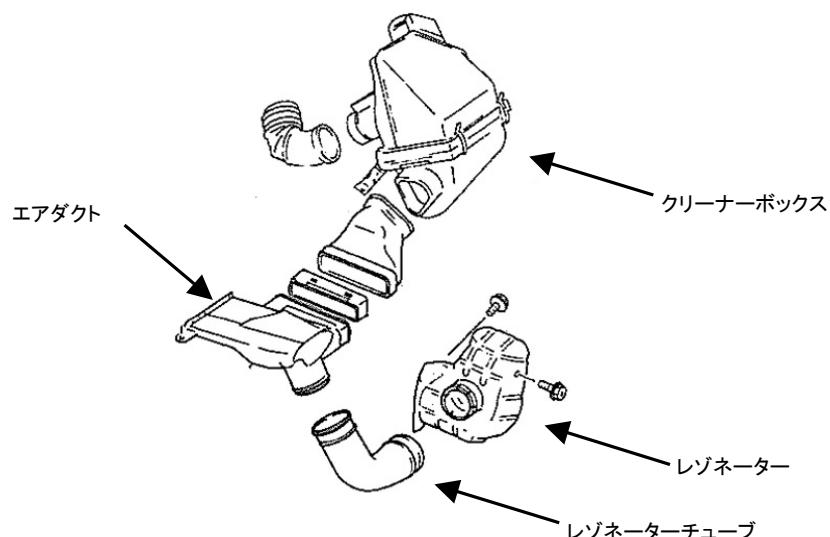
■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

□ノーマルパーツの取り外し□

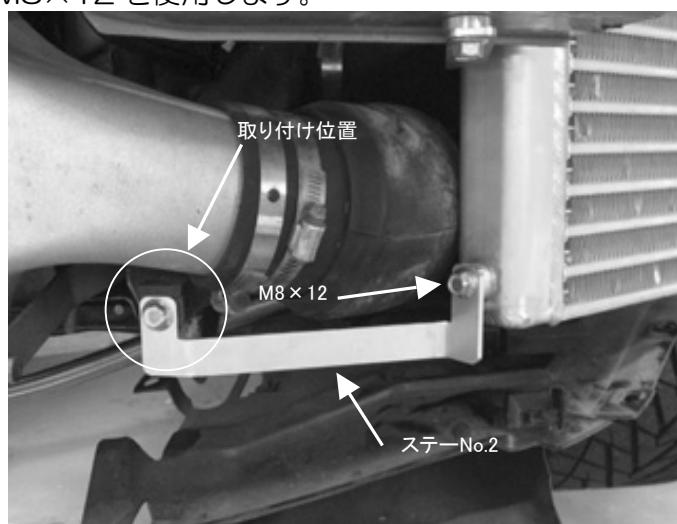
- ①バッテリーの（一）端子を取り外して下さい。
- ②エンジンオイルを抜き取り、オイルフィルターを取り外して下さい。
- ③フロントバンパー、車両左側のウィンカー、エンジンアンダーカバーを取り外して下さい。
- ④レゾネーター及び、レゾネーターチューブ、エアダクトを取り外します。



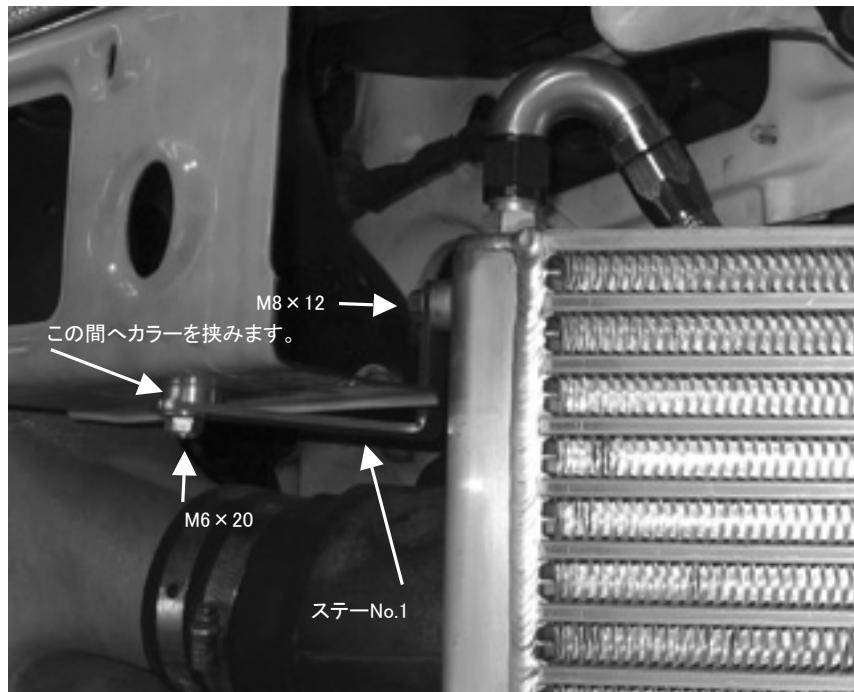
□キットの取り付け□

①コア本体を車両へ取り付けます。以降の図及び説明を参考にステーNo.1～No.3 を使用して固定します。

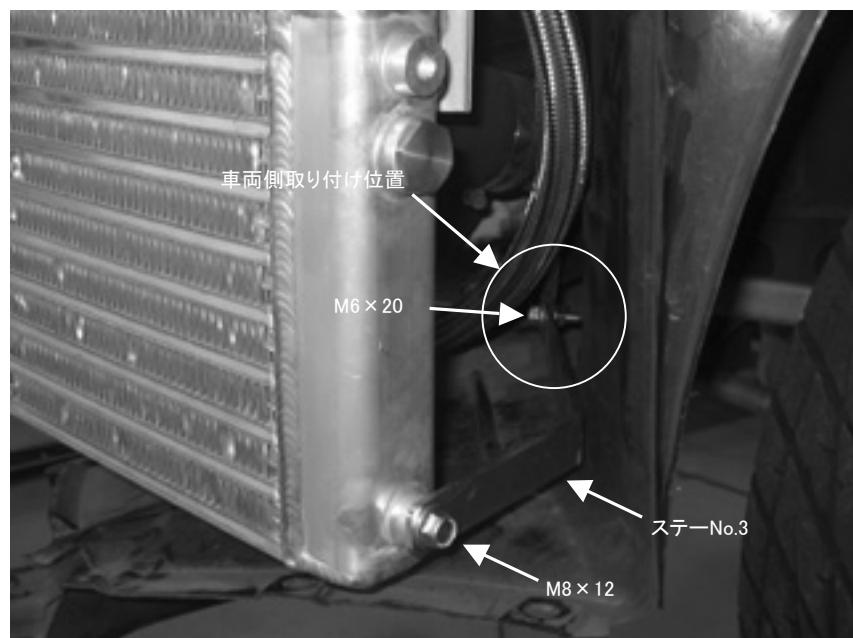
ステーNo.2 をリサキュレーションチューブへ純正ボルトを使用して取り付けます。コア側はフランジボルト M8×12 を使用します。



- ②ステーNo.1 長穴側を車両側にし、下図のように取り付けます。
車両側へ付属のカラーφ20-t=5.0を挟み、付属のフランジボルトM6×20、フランジナットM6を使用して固定します。コア側は付属のフランジボルトM8×12を使用します。



- ③ステーNo.3を取り付けます。
車両側は、付属のフランジボルトM6×20とフランジナットM6を、コア側は付属のフランジボルトM8×12を使用します。



④コア ASSY を固定します。

周囲へ干渉が無いよう全体の位置を調整して各ボルトを締めて下さい。



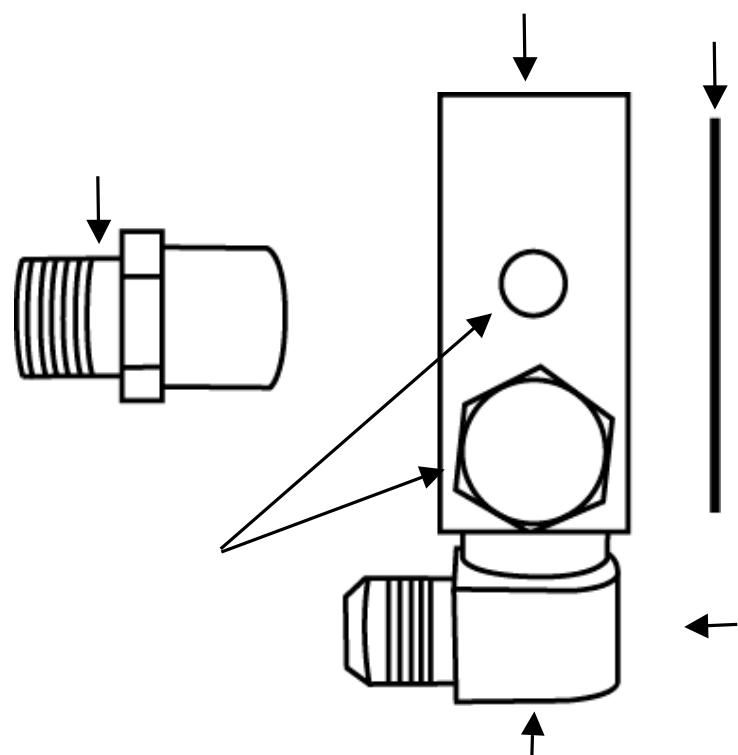
⑤オイルブロックをエンジンブロックへ付属のセンター螺栓を使用して取り付けます。

※オイルブロック溝部へ付属のOリングを取り付けて下さい。(少量のオイルを塗布する)

※取り付ける前にセンサーブラグ及びサーモスタッドが締まっているか確認して下さい。

1/8PTネジ部は締めすぎに注意してください。

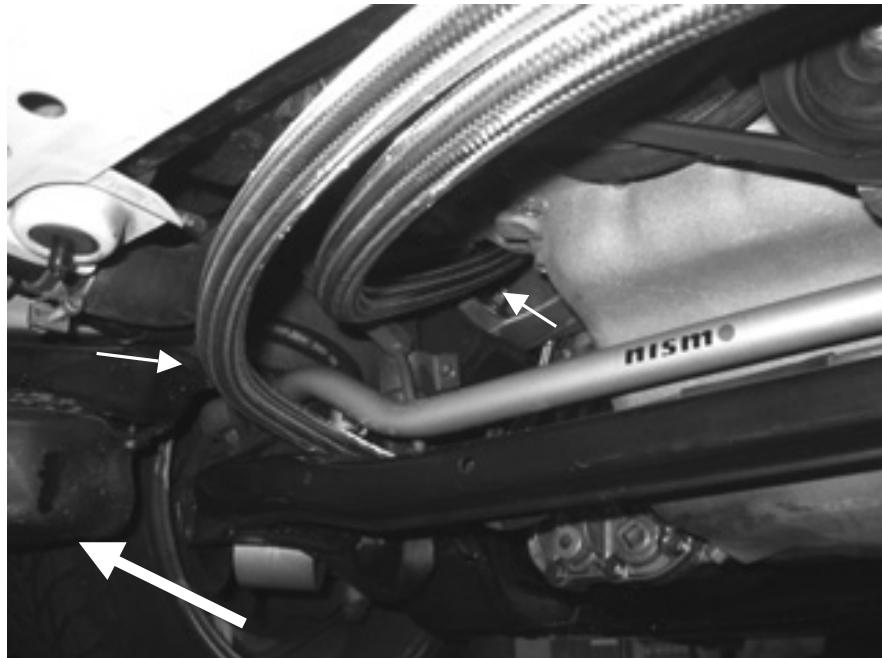
※センター螺栓の締めすぎに注意して下さい。



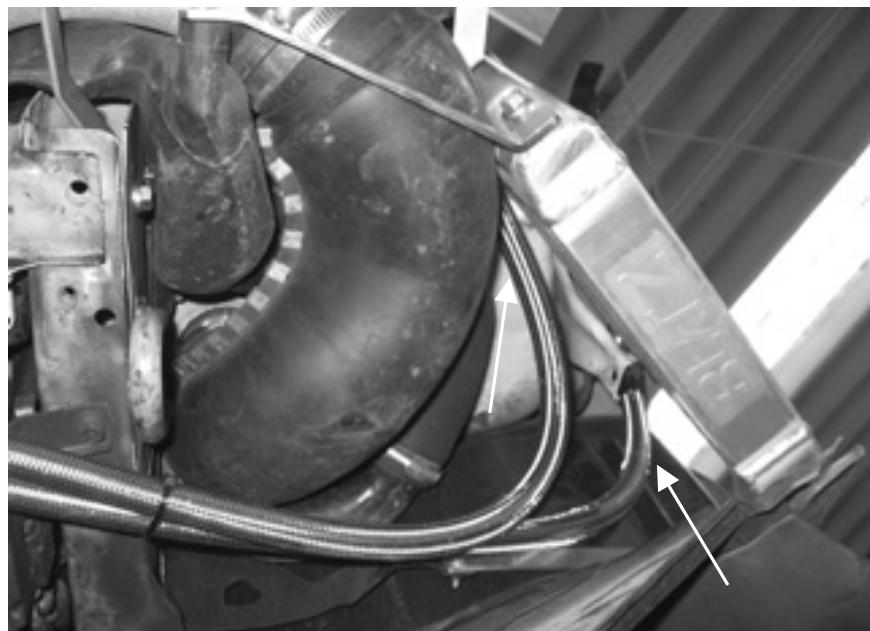
- ⑥オイルブロックへクーラーホース No.1、No.2 の 90° フィッティング側を取り付けます。
まず、No.1 の方を車両下側から通し、次に No.2 を車両下側前方より通します。
※仮留めにしておきます。
※取り付け前にクーラーホース内部を洗浄して下さい。

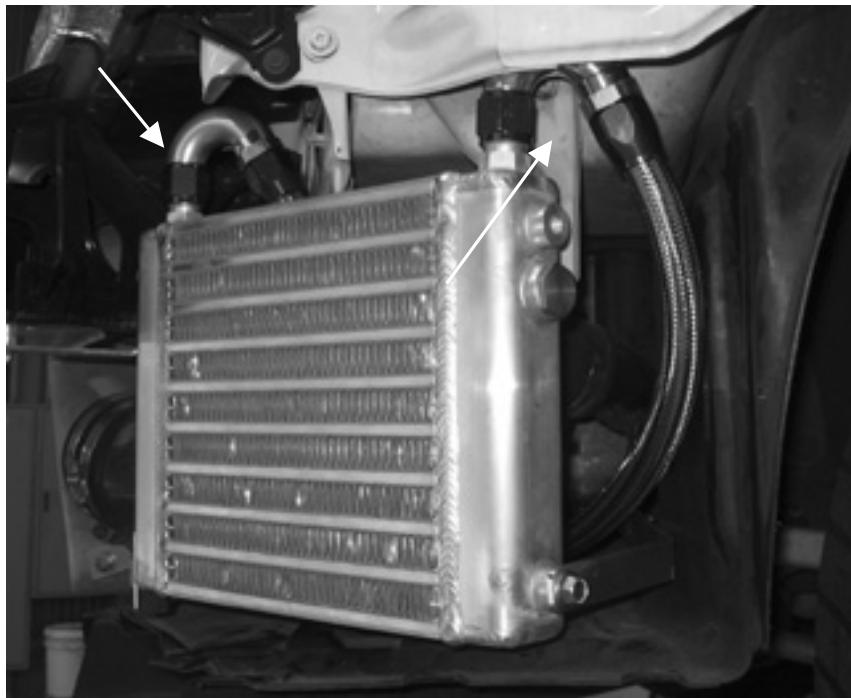


⑦クーラーホースを下図を参考に左フェンダー方向へ出します。
No.1 ホースは EG マウントブラケット及びデフケースの間から、スタビライザーダウンを通します。



⑧コアヘクーラーホースを接続します。
No.1、No.2 ホース 150° フィッティング側を下図を参考にクーラーコアへ接続します。





⑨稼動部分等に干渉が無いようフィッティングの位置を調整して、センターボルト、フィッティングを本締めします。

※オイルブロック部のフィッティング周囲にあまりスペースがありません。車上にて締め付けが困難な場合は、フィッティングの角度をマーキングし、オイルブロックを一旦車両より取り外し、フィッティングを締め付けてから車両へ戻すと作業が可能です。

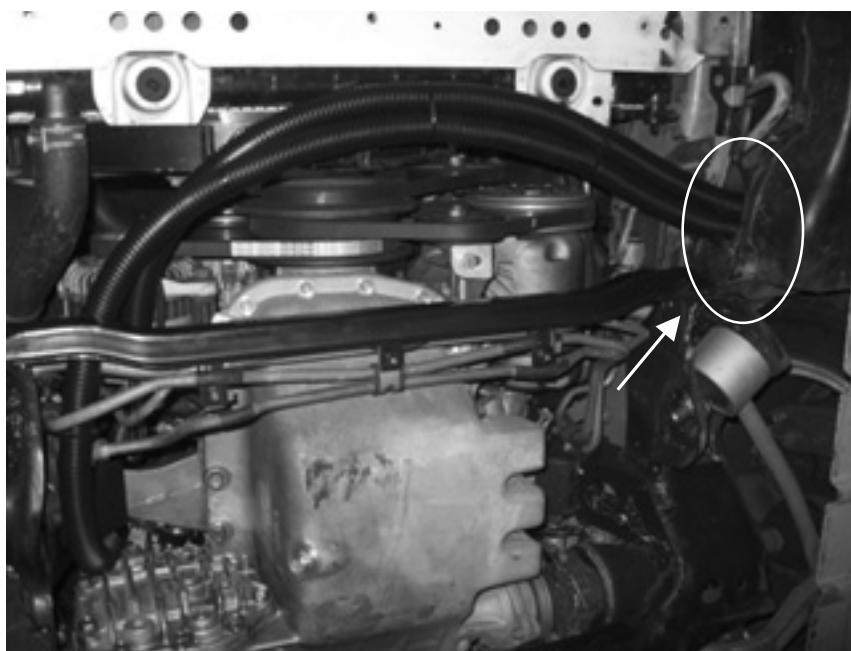
※ボディーへ干渉する部分へは付属のコルゲートチューブを巻いて下さい。

※タイラップでホースをまとめて、周囲の適当な所へ留めて下さい。

※アンダーカバーと干渉する部分が有りますので、カットして下さい。

※フィッティングはアルミ製ですので、締め過ぎに注意して下さい。無理な力を掛けて締め付けるとシール部を損傷し、オイル漏れの原因になります。

※周囲へタイラップ等で固定するなど、ホースが路面と干渉しないよう、注意して配管して下さい。



⑩オイルフィルターを取り付けます。

オイルブロック分フィルターの取り付け高さが変わります。

フィルターの周囲にスペースが無くなる為、高さが低く、径の小さいフィルターの使用を推奨します。

推奨フィルター

ブリッツレーシングオイルフィルター B-9271 コード No.18700
(Φ65×H65 UNF3/4-16)

⑪エンジン始動前にクランキングを行い、オイルをコアまで十分に循環させて下さい。

始動前に下記項目及び各部にオイル漏れが無いか、点検を行なって下さい。

エンジンオイルがレベルゲージ内にあるか。

ホースが他の部品に干渉していないか。

オイル漏れは無いか。

各部に締め忘れは無いか。

⑫オイル漏れや、干渉が無く問題が無ければ、アンダーカバー、ウィンカー、フロントバンパーを取り付けます。フロントバンパーとコアが干渉する部分があります。干渉しないようにバンパー側をカット加工します。

※アンダーカバーへホースが干渉する場合は、ホースの通路部をカットして下さい。

※最後にターンシグナルの動作確認を行なって下さい。

以上でキット取り付け作業は終了です。

注意

走行前には必ずオイル漏れがないか点検をして下さい。

走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、点検を行なって下さい。

装着後も、定期的に緩みや干渉が無いか確認を行なって下さい。

BLTZ